

テレビ広報
市民の広場

「霊山青年の家をたずねて」

OBS大分放送	TOSテレビ大分
11月26日	12月9日
午前7時15分	午前10時45分

毎月1日・15日発行

おおいだ 市報

第633号

昭和47年

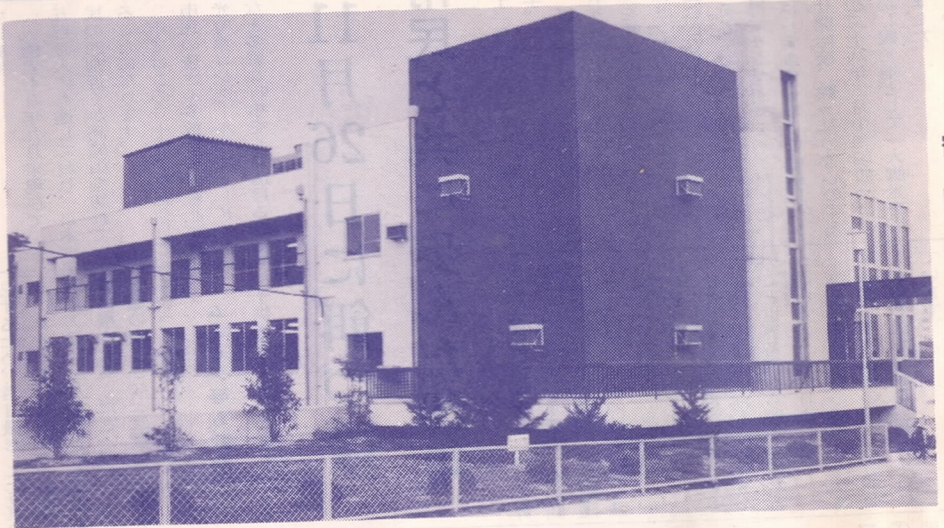
11月15日

発行所
大分市役所

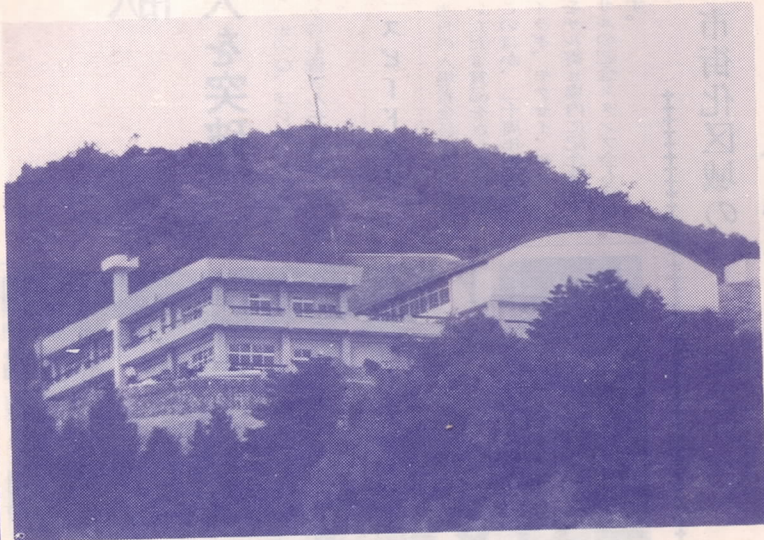
編集兼発行人
大分市役所代表者
橋本文治
印刷所 三恵印刷株式会社

(全世帯無料配布)

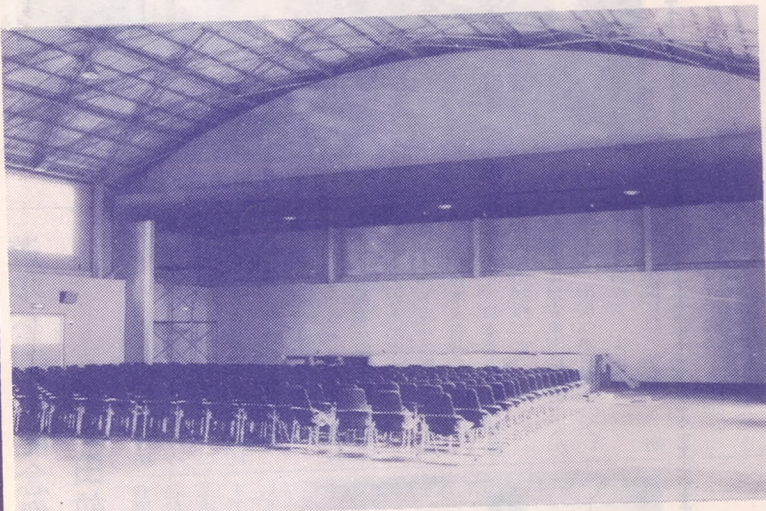
教育施設の充実、市政の重点施策の一つです。
中でも急速に変容する社会に対応するための社会教育施設の重要性はますます増えています。
この要請に応えるべく、市が建設中でありました待望の東部地区の社会教育センターとしての鶴崎公民館（総工費一億三千万円）と、青少年をはじめ一般社会人の研修の場である青年の家（総工費八千二百万円）がこのほど完成しました。
そこでこの二つの新しい施設を写真で紹介することにしました。



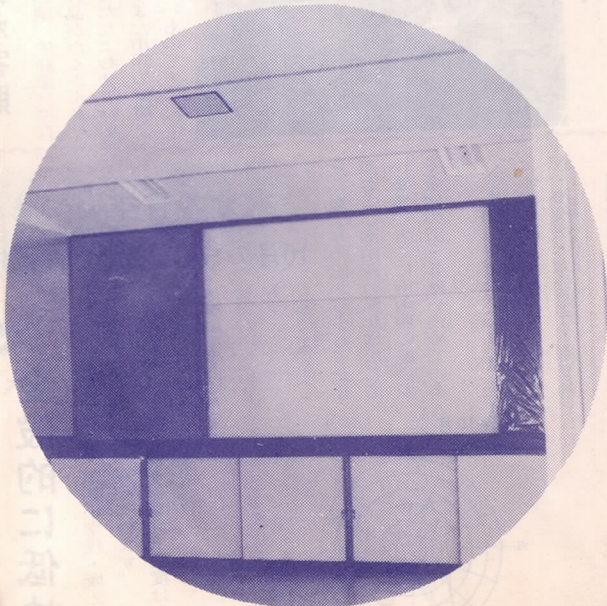
鶴崎公民館全景



緑に囲まれた霊山青年の家全景



霊山青年の家体育館
各種スポーツや集会の場に利用されます。



霊山青年の家視聴覚室
映画の設備が完備し、視聴覚教育に利用されます。

社会教育への貢献が期待される 霊山青年の家・鶴崎公民館が完成



鶴崎公民館大ホール

700人を収容できいろんな集会に使用されい
わば東部地区の文化会館ともいえましょう。
また体育館としても使用でき市民の体位向上
に一役買います。



鶴崎公民館和室

15畳の広さをもちお茶会や生花教室、短歌教室等に使用されます。



最新の調理器具が完備しており、公民館活動の一環である料理教室などに利用されること
になっています。

鶴崎公民館調理実習室

46年度の水道の決算を見る

営業収支はやや好転 だが依然苦しい事業費

市民の皆さんが納めた水道料が豊富で、清潔で、低廉な水をつくるため有効に使われているかどうか。大分市の水道財政つまり台所事情がどのようになっているのかは市民の皆さんがぜひ知っていただかねばならないことです。

それはみんなが力を合わせて豊富な水を供給するうえにはどうしても必要なことです。そこで、今回は決算の終わった昭和四十六年度水道事業会計の状況をお知らせすることにします。市民の皆さんが納めた水道料がどのように使われているかをこの機会にぜひのぞいてください。

わずかの営業利益はでたが： 設備投資はこれを大きく上回る

昭和四十六年度水道事業会計の決算状況をみると、収益的収支では収入が八億二千五百四十八千円、これに対し支出は七億七千九百七十七千円、差引き四千五百七十一千円を意味します。

この現金は資金となり他の内部留保資金と合わせて資本的収支（投資的収支）の不足額へ繰り入れられ、需要者のサービスとしてふり向けられます。

つまり営業面できりつめ、利益を生じさせサービスへふり向けようというものです。

一方、資本的収支では収入が十二億一千三百四十四千円、これに対し支出は十四億八千二百六十五千円、差引き二億七千二百二十一千円不足しています。このため当年度損益勘定留保資金（減価償却費等）一億二千三百八十七千九百九十九円、それに現在まで法的に積立てられた減価償却金二千五百五十九円と収益的収支で出た利益剰余金等四千八百二十二万五千円を以て補てんしましたが、なお不足するため、やむを得ず一時借入金四千八百四十四万円で措置しました。

このように資本的収支は施設の拡張事業や企業債の借入金返済など年々苦しくなり水道財政を圧迫しているのが現状です。現に今年度の資本的収支の不足額は前年度に比べ一億四千六万三千円も増加している状況です。

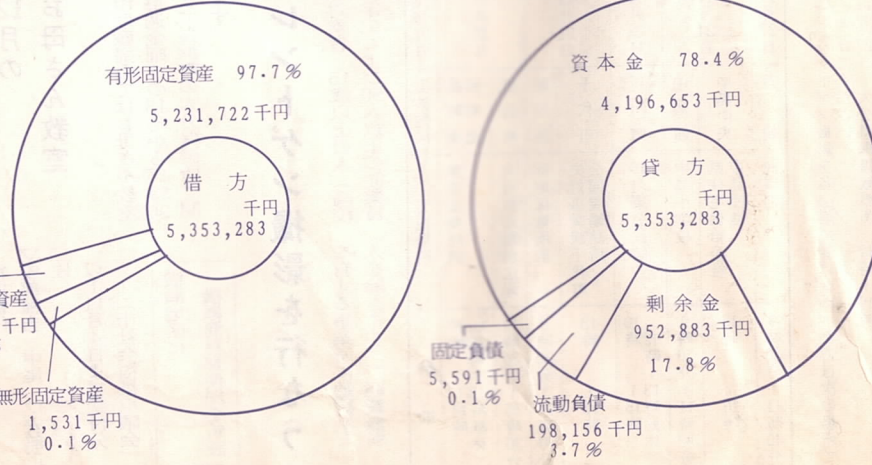
増加する水需要に備えて 設備の拡張・新設続く 事業費はほとんど借金

水を家庭まで送るには水源を求め浄水場を建設し、各家庭に水を送る配水管を布設しなければなりません。これらの事業費を計上しているのが投資的収支です。

この収支決算内容をみると収入では企業債借入金一億三千五百四十四千円、第三次拡張事業費として八億九千五百万円、配水管整備費として一億四千万円、建設改良費外として九億一千五百二十四万六千円を支出しました。事業の内訳をみると、横尾浄水場工事に八億二千六百八十七万八千円、えのくま浄水場拡張工事に七千三百二十二万二千円をかけた行ないました。

これは前年度より四億八千九百五十万二千円も増加しています。

貸借対照表



収益的収支 需要増により 料金収入は十七パーセント増加 一方経費もふえる

収益的収支の決算内容を見ると次のとおりです。

収入では市民の皆さんの直接負担となる水道料金全体の九十三パーセントを占める七億六千六百九十万二千円、前年度より十七パーセントの伸びを示しています。これは水の需要が急激な増加を続けておることによります。

本年度の一日平均配水量は七万五千七百八十一立方メートルで、前年度に対して七千二百八立方メートル増加しています。

また、一日最大配水量は九万八千三百七十七立方メートルで前年度より一万四千七百七立方メートル増加しています。

つきに受託工事は四千三百五十四万六千円、前年より八・五パーセント増となり、その他収入は配水管の移設負担金等二千四百八十四万四千円となっています。

一方、支出では原水を飲料水に

するまでの経費に億三千六百四十万五千円、前年度に比べ三十三パーセント増加しています。

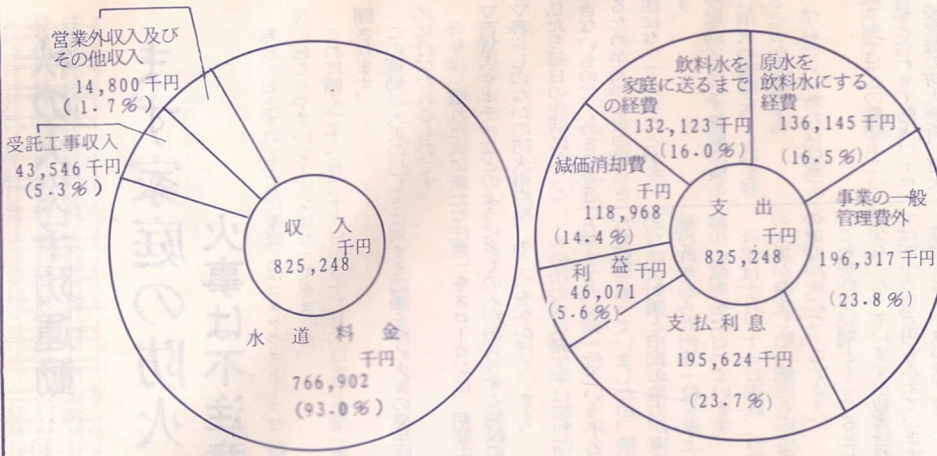
これは横尾浄水場の新設に伴う人件費、動力費、薬品等の増加が主な原因です。

次に飲料水を家庭に送るまでの経費つまり配水管敷設費や動力費等に億三千三百三十三万二千円、前年度に比べ二・七パーセント増加しています。

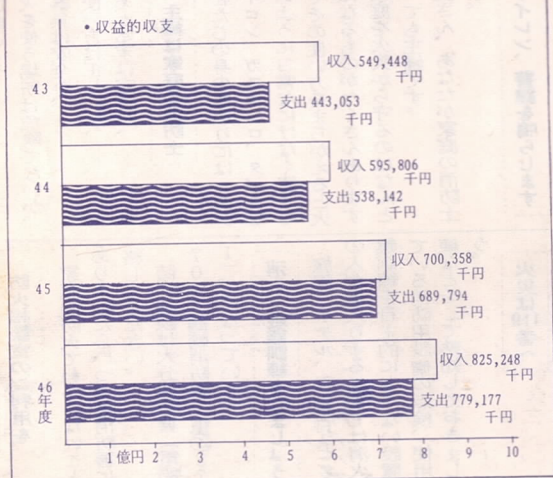
減価償却費についても同様で拡張事業が進むにつれ一億一千八百九十六万八千四百円が支出され前年より十三パーセントも増加しています。それから一般管理費では検針料金計算、メーター取替、受託工事費等の経費として一億九千六百三十一万七千円が支出されています。

以上をみると収支では四千六百七十一千円の利益がでており、前年度に比べ三・五億五千万六千円増加し、営業面では若干好転しています。

46年度収益的収支決算状況



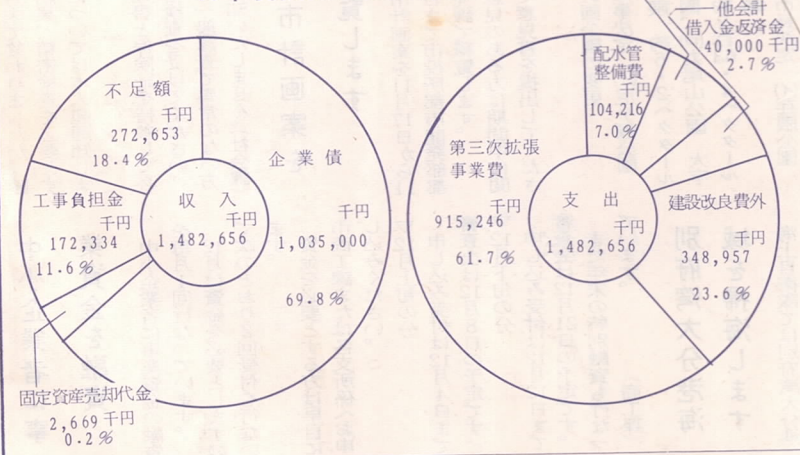
過去数年の財政状況



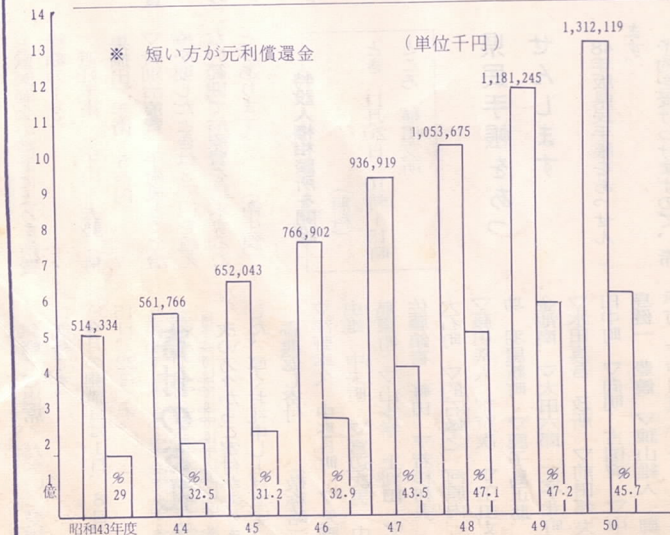
水道管に冬じたくを

布、ナワ、ビニールテープを巻いて防備してください。

46年度投資的収支決算状況



水道料金と元利償還金の比較



秋の火災予防運動

11月26日
12月2日

まず家庭の防火点検を 火事は不注意や油断から

寒波のおとずれとともに家庭ではストーブや暖房器具の使用が多くなり、火災の起りやすいシーズンになってきました。これに備えて十一月二十六日から十二月二日まで全国一斉に「秋の火災予防運動」が展開されます。

この運動は火災の防止に対する認識を深め火災の発生防止と人命被害事故をなくすために行われるものです。

今年は「慣れた火に新たな注意」をスローガンに、期間中の重点目標として、

▽百貨店やホテルなどのように多くの人が出入りする施設の安全避難

▽暮らしのなかの防火点検、の二つをあげています。

火は私たちの生活に欠くことのできないもので、あまり身近にあるためか火の恐ろしさを感じていない人が多いことが多く、火の使用前には必ず整備点検を、使用後は消火の確認を、これを習慣づけることが必要です。

つまり慣れた火に新たな注意です。

大分市の火災発生率は昭和四十五年まで九州第一位という不名誉な記録をもっていました。積極的な防火対策と市民の協力が実を結ぶ昨年から九州第一位を返上し減少の傾向をたどっています。

今年十月三十一日現在、百件の火災が発生し約一億円の市民の財産が灰になってしまいました。

これを昨年同様に減らすべく、市消防本部ではこの期間中二つの重点目標と合わせて防火パトロール、一般家庭の防火診断、防火座談会、映画会、消防訓練の指導などを行ないます。



「ガスの栓は安全かな」家庭の防火点検する消防署員

ネズミ駆除に協力を 市が薬剤を無料配布

これから寒さがきびしくなるにつれてネズミが戸外から家屋内に侵入し、家具を傷つけ、食物に病源菌をまき散らすなどの活動を開始します。

ネズミは警戒心が強いので、毒餌を一定にしておいてください。

ネズミは警戒心が強いので、毒餌を一定にしておいてください。

ネズミは警戒心が強いので、毒餌を一定にしておいてください。

ネズミ駆除の要領

ネズミ駆除の要領

ネズミ駆除の要領

ネズミ駆除の要領

防火相談室の二利用を

家庭の防火でわからないことがあっても、いつでも消防署に連絡してください。

防火相談室は大分消防署(電話3704) 鶴崎消防署(電話2772)で設けられています。

主婦は家庭の消防士

私たちの身のまわりにはコタツ、アイロン、ガスコンロ、タバコなどのように日常にながら使用しているものが多い。ところが、これらに火災の原因となるものがたくさんあります。家庭を火災から守るのは、主婦の責任です。

奥さん、あなたが家庭の消防士です。

サイレン、警鐘を鳴らします

秋の防火運動期間中次の要領でサイレン、警鐘を鳴らします。

日時、十一月二十六日(土)午後十時

鳴らさる方、サイレン：一分間一回警鐘：〇〇〇〇を三回繰り返します。

公民館行事

中央公民館行事

公民館行事

投票所入場券は郵送します

投票所入場券は、こんどの選挙から郵便がききに印刷して、各投票所まで郵便でお届けします。

いまは市職員や自治委員が、各家庭へ配布していましたが、今年から変えたものです。



お知らせ

お知らせ

中小企業者に事業資金を融資

中小企業者に事業資金の融資を毎月一回行なっています。

12月は資金を必要とする方のために、次のとおり2回交付を行ないます。

都市計画案を縦覧します

都市計画案を11月17日から11月30日まで市役所都市開発部都市開発課で縦覧します。

ご意見のある方は期間中に閲覧して意見書を提出してください。

別府湾大分港海域を掃海します

海上自衛隊は別府湾大分港周辺海域の掃海を行ないます。

期間、11月16日、11月30日、7時～17時

成人者の感想文を募集します

成人者の感想文を募集します。

募集作品(成人の日を迎えて)のテーマで文型自由。

老人精密健康診断を行ないます

65歳以上の老人一般健康診断

電話加入権の公売

犬の不妊手術費を補助します

市および市獣医師会では野犬防止のため、飼犬の不妊手術を行なう際の費用の一部を補助します。

レントゲン撮影を行なう

レントゲン撮影を行なう

お母さん教室

お母さん教室

県民手帳をみつせんします

48年版県民手帳をみつせんします。

予約を受けつけますので、希望者は市企画課または各支所庶務係、明野出張所へお申し込みください。

特設入札場所を開設

特設入札場所を開設

お母さん教室

お母さん教室

レントゲン撮影を行なう

レントゲン撮影を行なう

お母さん教室

お母さん教室

レントゲン撮影を行なう

レントゲン撮影を行なう

お母さん教室

お母さん教室

レントゲン撮影を行なう

レントゲン撮影を行なう